

## 2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床医学総論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	1校舎401.501
担 当 教 員	中島弘美 水口洋一	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
解剖学・基礎生理学をベースとした病理学の基礎を修得させ、その知識を他の科目につなげ、理解する能力を身に付ける。						
《成績評価の方法と基準》						
期末及び中間の筆記試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
カラーで学べる病理学(ヌーヴェルヒロカワ) 臨床検査学講座 病理学・病理検査学(医歯薬出版)						
《授業外における学習方法》						
配布資料を復習して、授業の都度理解を深めるようにする。それを前提に講義を進めていく。						
《履修に当たっての留意点》						
病理学に関連して、解剖学や生理学の知識も増やしていく。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	生体と循環の仕組み、充血とうっ血、出血について説明できるようになる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する	
		各コマにおける授業予定	生体と循環の仕組み、充血とうっ血、出血(種類、結果と影響、出血性素因)について学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液凝固と血栓症について説明できるようになる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する	
		各コマにおける授業予定	血液凝固(止血機構)と血栓症(血栓形成の3要因、血栓の種類)について学ぶ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	塞栓症、虚血と梗塞、浮腫について説明できるようになる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する	
		各コマにおける授業予定	塞栓症(動脈性塞栓、静脈性塞栓)、虚血と梗塞(梗塞の種類)、浮腫(浮腫の成因・原因)について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	ショックと高血圧について説明できるようになる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する	
		各コマにおける授業予定	ショック(低容量性、心原性、閉塞性、血液分布異常性)と高血圧(本態性高血圧、二次性高血圧)について学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	虚血性心疾患、心内膜炎と心臓弁膜症について説明できるようになる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する	
		各コマにおける授業予定	虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞、急性冠症候群)、心内膜炎と心臓弁膜症について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	その他の心疾患、先天性心奇形、動脈硬化について説明できるようになる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定	その他の心疾患(心肥大、心筋症、心不全)、先天性心奇形、動脈硬化(粥状硬化)について学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	その他の動脈疾患について説明できるようになる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定	その他の動脈疾患(大動脈瘤と大動脈解離)について学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	中間テストとその解説	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定	中間テストとその解説		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	代謝異常についてと脂質代謝異常について説明できるようになる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定	代謝異常についてと脂質代謝異常(脂質異常症、脂肪肝)について学ぶ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	糖質代謝異常について説明できるようになる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定	糖質代謝異常(1型糖尿病、2型糖尿病)について学ぶ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	たんぱく質代謝異常とメタボリックシンドロームについて説明できるようになる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定	たんぱく質代謝異常(低たんぱく血症)とメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)について学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系の形態と機能、感染症について説明できるようになる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定	呼吸器系の形態と機能、感染症(肺炎、インフルエンザ、肺結核症)について学ぶ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	その他の呼吸器疾患について説明できるようになる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定	その他の呼吸器疾患(気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、サルコイドーシス)について学ぶ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	肺がんについて説明できるようになる。	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定	肺がん(腺がん、扁平上皮がん、小細胞がん、大細胞がん)について学ぶ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	代謝異常、呼吸器疾患まとめ	カラーで学べる病理学・臨床検査学講座病理学・病理検査学および配布資料	講義終了後、配布資料をよく読んで理解する
		各コマにおける授業予定	代謝異常、呼吸器疾患まとめ		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床医学総論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	1校舎401.501
担 当 教 員	中島弘美 水口洋一	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
解剖学・基礎生理学をベースとした病理学の基礎を修得させ、その知識を他の科目につなげ、理解する能力を身に付ける。						
《成績評価の方法と基準》						
期末及び中間の筆記試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
カラーで学べる病理学(ヌーヴェルヒロカワ) 臨床検査学講座 病理学・病理検査学(医歯薬出版)						
《授業外における学習方法》						
配布資料を復習して、授業の都度理解を深めるようにする。それを前提に講義を進めていく。						
《履修に当たっての留意点》						
病理学に関連して、解剖学や生理学の知識も増やしていく。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	新生児の病理・先天異常①: 遺伝・遺伝子・染色体についての概要と、染色体異常に伴う疾患について理解できるようになる。			
		各コマに おける 授業予定	遺伝・遺伝子・染色体についての概要と、染色体異常に伴う疾患について学ぶ。			
第 17 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	新生児の病理・先天異常②: 染色体異常以外による遺伝性疾患と、新生児・小児に特有な疾患について理解できるようになる。			
		各コマに おける 授業予定	染色体異常以外による遺伝性疾患と、新生児・小児に特有な疾患について学ぶ。			
第 18 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	老化と老年病・生命の危機: 老化による生体への影響と、生命に危機をもたらす損傷について理解できるようになる。			
		各コマに おける 授業予定	老化による生理現象が生体に及ぼす影響と、生命に危機をもたらす損傷について学ぶ。			
第 19 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	免疫とアレルギー①: 正常な免疫系のしくみと役割を理解できるようになる。			
		各コマに おける 授業予定	正常な免疫系のしくみと役割を学ぶ。			
第 20 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	免疫とアレルギー②: 免疫系の異常による主な疾患について理解できるようになる。			
		各コマに おける 授業予定	免疫系の異常による主な疾患、アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全症、移植免疫について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	造血器系の病理について理解できるようになる。		
		各コマにおける授業予定	造血器系、特にリンパ組織の概要と、代表的なリンパ組織疾患について学ぶ。		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期、第1回から第6回の授業のまとめ。		
		各コマにおける授業予定	後期、第1回から第6回の授業のまとめ。		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期中間試験とその解説。		
		各コマにおける授業予定	後期中間試験とその解説。		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎・尿路系①:腎・尿路の概要と、腎疾患について理解できるようになる。		
		各コマにおける授業予定	腎・尿路系の解剖・生理の概要と、腎の疾病について学ぶ。		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎・尿路系②:尿路系の主な疾病と、腎・尿路系の腫瘍について理解できるようになる。		
		各コマにおける授業予定	尿路系の主な疾病と、腎・尿路系の腫瘍について学ぶ。		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	生殖器・乳腺①:男女生殖器・乳腺の概要と、代表的な男性生殖器疾患について理解する。		
		各コマにおける授業予定	男女生殖器の概要と、代表的な男性生殖器(陰茎・陰嚢・睾丸・前立腺)の疾病を学ぶ。		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	生殖器・乳腺②:代表的な女性生殖器疾患と乳腺疾患について理解できるようになる。		
		各コマにおける授業予定	代表的な女性生殖器(外陰部・膣・子宮頸部・子宮体部・卵管・卵巣)の疾病を学ぶ。		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳・神経系の病理について理解できるようになる。		
		各コマにおける授業予定	脳・神経系組織の概要と、主な疾病、特に頭蓋内圧亢進、脳血管疾患、神経変性疾患、認知症、脱髄性疾患、感染症、脳腫瘍などについて学ぶ。		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動器系の病理について理解できるようになる。		
		各コマにおける授業予定	運動器系(骨・関節・筋)の概要と、主要な疾病について学ぶ。		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期、第9回から第14回の授業のまとめ。		
		各コマにおける授業予定	後期、第9回から第14回の授業のまとめ。		